

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-44 食育事業						
	□支 援 部 門						
主管課	市民健康課	関連課	産業振興課、保育課、市民相談課他				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	食を通して市民の健康の維持増進を図る						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源 状 況	事業の対象者数				・H23年度(国・県) 子育て支援交付金 (食育の推進) ・H24年度子育て支援交付 金は対象外となった		
	決算値(千円)	925	1,076	5,064			
	(国・県)	0	177	3,934			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	925	899	1,130			
	人員配置数	0.8	0.8	0.8			
	人件費(千円)	6,403	6,891	7,036			
	協働の パートナー	市民、事業者、生産者、 市民団体、教育関係団	市民、事業者、生産者、 市民団体、教育関係団体	市民、事業者、生産者、 市民団体、教育関係団体			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	7,328	7,967	12,100			
	市民1人当 りの経費(円)	41	45	68			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
食育ボランティア(食育クラブ員)の養成 及び強化	○	目標値	40人	50人	60人	70人	70人
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	60人	69人	80人	87人	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
食育事業	925千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☐ B	☒ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	食育活動を推進するボランティアを養成するとともに、既に活動している団体、生産者及び事業者と連携を図りながら地域での食育を推進する講座やイベントを開催することで、市民への啓発を図り、全市的な食育の推進に努める。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	「食」に関わる個人・団体・生産者・事業者等の連携体制を構築し、食育を推進する事業を展開する必要がある。		
課題解決のための取組	地域で食育を推進する食育クラブ員の養成を引き続き行うことによりボランティア数の拡大を図った。また、鎌倉市内で既に「食」について考え、活動している団体や事業者等と協力し合い、鎌倉の食育を推進するための事業を実施した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	食育活動を行う個人・団体・生産者・事業者等との連携体制を構築する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 △	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓ B	課長等名
		③有効性 ○			市民健康課長
		④公平性 ○			大澤 一則

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
食育事業	主な個別事業	1282 鎌倉市食育推進会議委員報酬	336	200	○	○	○	○
		1282 かまくら食育クラブ協力者等謝礼	306	256	△	○	○	○
		1282 かまくら食育カレッジ講師等謝礼	280	220	○	○	○	○
		1282 地域食育推進事業委託料	210	76	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							